くにみ

【第15号】
昭和33年12月15日発行
非売品
発行所　国見町公民館
発行人　佐藤善次郎
編集人　鈴木美一
印刷所　宇佐美印刷所

国見町新町建設計画審議会発足

会長に大沼酉治氏互選さる

わが国見町は、待望の新市町村建設計画指定町となり、新しい町づくり計画の諸般の基礎調査を行っていたが、いよいよその仕事も終了し、その調査を分析し、新町建設の基本計画をたてる段階になったので、今度、その建設計画推進事務局の設置を見、局長に総務課長熊坂善七氏が就任した。

更に十二月六日町条例による新町建設計画審議会の委員二十二名の発令を見、その第一回の会合が開かれ、互選の結果大沼酉治氏が会長に選ばれた。委員は後記の通りで、これら審議会委員は、わが国見町百年の大計というか、町発展の設計図というか、新町建設計画の基礎調査＝十ケ年の基本計画＝予算その他とにらみ合せた五ケ年間の実施計画の策定に、推進事務局と協同し、町長に答申するものでその使命は大きく、責任は誠に重いと思われる。尚三十四年三月末日までにこれら一切の仕事を完了し、政府に提出することになっているので、事務局委員や幹事は、年末年始を返上して馬力をかけることになっている。

新町建設計画審議会委員

○議会関係（六名）
大沼酉治、大波久、斎藤一郎、佐藤新七、菊地唯七、秦勝喜

○教育委員（一名）
武見弥八郎

○農業委員関係（五名）
八島建次郎、谷口亀之助、熊坂源蔵、酒井保、鈴木幸吉

○公共団体関係（一〇名）
大津利一、佐藤善次郎、八島博正、高橋さたみ、武田文治、赤井畑直衛、紺野倫兵衛、斎藤喜一、八島福太郎、小林正夫、

創意と工夫で新生活

年末年始への要望事項

新生活運動は、上からの指示や命令で行うものではなく一人一人の自覚から、それが地域や団体にひろがっていくというあり方が望ましいのです。次に掲げるものは、今度全国二十団体の代表者が集って開いた新生活運動懇談会で申合せた年末年始についての実施要望事項です。先ず一人で考えて出来ることは一人で実行し、地域や団体でやった方がより効果的なことはみんなでよく話し合って実践しましょう。

一、形式的な年賀状の自粛
一、形式的な贈答の廃止
一、年末年始の宴会、回礼等の自粛
一、門松、クリスマスツリーの自粛
一、消費節約と貯蓄の増強
一、助けあいの励行
一、酔っ払いの追放
一、年末年始の話し合いの機会をもつ

共同集荷所・集乳所完成近し

近来農村の生産技術は非常に進歩向上したので、今後は生産物を有利に販売することが農村振興上大事なことであるとの考えから、大木戸及び森江野農協ではそれぞれ共同集荷所を建設し、また町の酪農組合では牛乳の共同処理をするための集乳所を建てることになり、農村振興特別助成事業として指定になったことは前にお知らせした通りであるが、それぞれの組合では、何れも年内完成を目ざしてその工事を急いでいる。

㈠、大木戸農協共同集荷所
（組合長酒井保氏）
宮原第二倉庫敷地内に石造り、瓦葺き、平家建、本屋三五坪、下屋二七坪、計六二坪の堂々たるもので、工事費一、二九、〇〇〇円

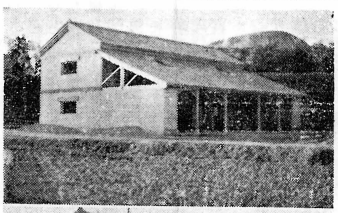
【写真上】

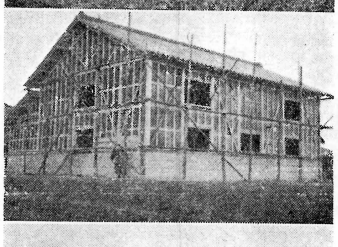
㈡、森江野農協共同集荷所
（組合長谷口亀之助氏）
元の森江野役場庁舎を改増築して農協が移転し、これまでの農協敷地内に新築、腰廻り石造り、その他木造平家建、瓦葺き、本屋三五坪、下屋一四坪、計四九坪のガッシリしたもので工事費七四五、〇〇〇円

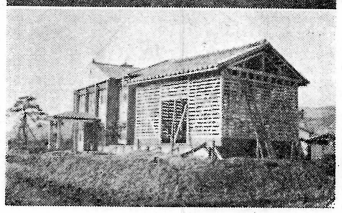
【写真中】

㈢、酪農組合集乳所
（組合長佐藤節夫氏）
役場敷地内ポンプ置場東側に木造瓦葺き、平家建、建坪七、五坪に荷卸ホーム一、五坪、工事費三五〇、〇〇〇円

【写真下】







…人生学校…

傍目八目（修羽の業）

春日　佑幸

おいらの仲間のおたのしみ
やかん頭に湯気をたて待ったは出来ぬと仰しやるが
それでは大事な石が死ぬ
これを死なせてなるものかとそこに手洗う手水鉢
親の死目も何のその
一心不乱になってると自分の一著
一著には絶対ミスがないように思っていても傍目には大きなアナもあろうもの
これと同じく人生はやっきとなって下手な碁をうってる様子に似てるのだ
人の心はさまざまで劣等感もあるけれど
元来何かとうぬぼれは大ていだれにもあるそうな
だから自分の行動や無きずなものときめてるがそれをはたからみているといくらもアナがある筈だいわゆるおか目八目だ
上には上のあるもので本因坊ともいうような上手な人の碁にさえもアナのあいてることもあり疑問の石もあるらしい
警職法や国会の上を下への混乱もおれがやるならあのようなへまはまさかはやらないと気焔をあげて遠くから涼しい顔でみてるのも一種のおか目八目だ
しかし今までよそにだけそそいでいた目を反対に自分にむけてみるならば二度とかえらぬ人生に待ったがないということはおいらのざる碁の場合より一層きびしい原則だ
こつそり悪の愉しさに一時をごまかしすごしても因果はめぐる水車
遠い近いの差はあるが必ず報いはくるはずだ
永い月日の間にはいかに注意をはらつてもへたな手をうつこともありうかつな種子をまいたとていつもはたから親切な助言があるとも限らないもちろん尊い忠言はすなおにこれをうけ入れてじぶんの人間形成に大いに役にも立てようがそれもいつでも都合よくあると限つたものでない
だから正しい日送りや心の平和をねがうなら人がみてると同様に自分で心や行動をたえずながめて反省し自分が自分を相手にしまじめにやつてゆくことがいわゆるおか目八目のざる碁修業というものだ

（　）（　）（　）

浜の旅

部落長会研修旅行記（二）

心からなる役場職員の歓待をうけ、階上で町政特に都市計画と簡易水道の件に付、各係より詳しく説明をうける。町長を中心として役場職員並に町民一体となり振興計画に随つて一歩一歩健実な歩を進めている姿を見て感激する。

時間の都合で富岡役場を辞し、同乗した土木主任から水源地及び区劃整理の実際をマイクを通してきく。区劃整理という難事業も昭和二十六年以来失対事業で、その計画の三分の二を了し、農道も巾五米、十米、二十米で延長二キロ余に及び、大乗的見地に立つ受益者の協力と、綿密にして周到な設計及び換地について殊更に意を用いた当局に対し、敬意を表する。土木主任が懇切な説明の合間にも雨中の路上に降りて障碍物を確認し、バスを誘導するなどの親切さには全く頭のさがる思いがし、旅先で何か心の温まる感じがした。

浪江より阿武隈山系を横切り、夕闇迫る川俣町を経、福島の夜景を賞しながら無事帰町する。今回の旅行を通しての感想を次に述べる。

㈠、地財法適用第一号として共通の条件にあるわが町でも藤田を中心とした区劃整理と農道の開設が急務であると思われる。

㈡、勿来の関を見ては厚樫山の史蹟を何とか保存したいものだと思われた。

㈢、今回の旅行は、部落長よりも議会議員向のものであつたようだ。（S・T生記）（完）

農業基本法とは？

農業基本法なる言葉が学者や政治家の口に上るようになつたことはうれしい。どんな内容のものか簡単にいうと、西ドイツの農業基本法のあらましについて見ればよくわかる。

それは全文九条からなる簡単な法律であるが、その第一条に目的が明示されている。すなわち農業を国民経済の発展に貢献させるために他の産業部門に劣る経済的不利益が調整せられ、農業従事者の社会的地位は他の職業群と同じ水準に高められなければならないとし、第五条では、収支の不均衡に留意してとるべき処置を明らかにして農業収益の上昇傾向を持続するよう取計らうことを定め、第六条では以上に必要な歳入歳出予算を計上して議会に提出すべきことを命じている。

政府は常にこの事を調査研究して農業振興方策を立て、議会の協賛をうけてゆかねばならぬ義務をもつことを規定した農業振興基本立法である。

わが国でも早く日本的な規模雄大な、農家所得の飛躍的増大と安定を目あてとして、仮称「農業基本法」なるものができることを切望してやまない。国見町全農家のためにも。（KO生）

☆　☆　☆

町作りの功績を物語る表彰状

合併後町民各位の御協力によつて各方面から多くの表彰状や感謝状をうけているが、そのうち県以上からの表彰状を拾つてみます。

三十年三月三十日
産米供出成績優良につき農林大臣より（国見町）

三十年五月十五日
規律厳正、技能熟達につき県知事より（消防団）

三十一年三月三十一日
指定統計調査事務の功績について通産大臣より（国見町）

三十一年八月二十一日
選挙管理優秀につき県選挙管理委員会より（町選挙管理委員会）

三十一年十月二十一日
創設自作農地等の貸付料等国庫納付金成績優良につき農林大臣より（農業委員会）

三十一年十一月六日
蚊とハイのいない新生活運動に協力成績優良につき県知事より（国見町）

三十一年三月二十九日
三十一年度産米政府売渡成績優良につき食糧庁長官より（国見町）

三十一年四月十六日
結核予防運動成績優良につき日本結核予防会総裁より（国見町）

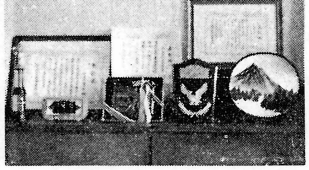
三十二年十一月十六日
優秀なる衛生民衆組織として県知事より（町保健委員会）

三十三年五月三日
県民税徴収成績優秀につき県知事より（国見町）

三十三年八月二十六日
消防ポンプ操法第五位につき県消防協会長より（国見町消防団）

三十三年十月十七日
結核を中心とした公衆衛生事業全般の功績により厚生大臣より（国見町）

三十三年十一月二十九日
国民健康保険法の趣旨をよく理解し、国保事業の運営にあたりその成績優秀につき県知事より（国見町）



成人式該当者調について

昭和十三年一月十六日生れから全十四年四月一日生までの方の名簿を回覧しますからよくごらんになつて誤りがあつたらなおして下さい（係より）

（▽農事メモ△）

◎稲作

脱穀調整も大体終了し一段落したところで今年の作柄を反省して明年の稲作計画を樹立しましよう。

今年の稲作から今後改善すべき点は

1、良い品種、種籾の確保と特性の把握
2、田植時期を早めること
3、少肥密植とすること
4、病害虫の防除徹底（特に穂首いもち病）
5、灌排水の調節

以上の事柄をこれから冬期間に充分検討し、明年は万全を期しましよう。

◎麦作

○年内における中耕は、深く排水を良くする事が大切です。冬を完全に越させる為に早めに実施しましよう。

○雪腐病防除、山間地ではこれから薬剤撒布による防除として、根雪前にセレサン石灰等の水銀粉剤、反当約四～五キロを、麦の茎葉と土砂面に撒布しましよう。

○水田裏作は排水を完全に、過湿にならない様にする。

◎果樹

園内外の清掃につとめること。堆厩肥や遅効性肥料を施す。堆厩肥や土の浅い処は計画的に深耕して有機物を施す様にしましよう。

◎記帳生活の実施

経営の改善を行う為には、その基本となる営農の実態把握が大切です。この為には必ず簿記をつけることが必要です。来年はみんなで記帳生活を実施しましよう

◎この館報を家庭や部落や隣組での話しあいのテキストにお使い下さい

優良従業員の表彰

職場第一の決意固し

国見町商工会ではかねて町内商店や事業所に働く優良従業員を表彰し、日頃の労苦に酬えようと、役員を中心により計画中であつたが、去る十一月二十三日勤労感謝の日を卜し、町村合併五周年記念事業の一つとして盛大にその表彰式を行なつた。この日優良従業員として選ばれたのは町内の商店事業所に五年以上まじめに勤続したもので後記五十名の人々であつた。

式場は菊花薫る町役場大会議室、右側には町内有志寄贈多数、左側には役員、後方には事業主と三方を取まく中に、割れるような拍手に迎えられて、今日の主役たちが参入して来る。輝くような背広姿や訪問着を着用、胸に大きな造花の記章をつけ、感激の顔を紅潮させている。

定刻午后二時、秦副会長の開会の辞について武田会長の挨拶があり、次に表彰状と記念品の授与をする。とかく「代表」とか「以下同文」とか簡素化し易い世の中であるが、民主主義に徹した会長は今日の主役は受賞者であると信念から、五十枚の表彰状を一枚一枚謹上げながら記念品を一人一人に手渡したので、次に町長代理熊坂総務課長、大沼議会議長、武見教育委員長、蔭山中学校長の各来賓並に事業主代表の随口弥太郎氏から、恩情あふれる よろこびとはげましのことばがあつて一同の感謝は最高潮に達し、最後に受賞者代表として三浦由吉氏から今後一層精励して今日の光栄にむくえたいとの答辞があつたが、氏のことばの中に

「官公吏には恩給とか年金の制度があるが、われ／＼はストも団体交渉もすることなく一意専心、五年、十年三十年と貴い一生を捧げ、職場第一と働いているのであるから、どうか待遇の向上や生活の保償についてよく考えていただきたい」

ということがあつた。これは従業員の言うべくして言い得ない真の叫びとも云うべき商工会もよく考えて見る必要があると思われた。

次に万歳三唱で一旦閉式、祝宴に移り、かわいい子供たちの舞踊を見ながら、労賃来賓なごやかなふんいきの中に四時半閉会した。

晴れの受賞者次の通り

（カッコ内数字は勤続年数）

◎藤田通運KK本間正(18)　田村松太郎(16)　引地修(10)　古川数男(10)

◎赤井畑製材所　津田徳賀(28)　後藤虎次郎(12)　須賀登(12)　鈴木スイ(12)

鎗水金春(12)　斎藤末吉(12)　三浦由吉(11)　後藤恒男(11)　秦宏(8)　斎藤虎之丞(6)　渡辺幸造(6)　秦定雄(6)

◎佐藤魚店　佐久間貞勝(5)

◎樋口納豆店　佐々木すが(7)　川島すみ(5)

◎東海林醤油店　安藤卯左ェ門(7)

◎かつらや肉店　遠藤ツヤ子(11)

◎丸公国見営業所　後藤サツ子(7)

◎熊田写真館　後藤秀明(5)

◎古川魚店　谷津カツエ(13)

◎藤田劇場　渡辺浅蔵(5)

◎八木屋呉服店　半沢昭義(6)

◎マルト穀肥有K　渡辺勝助(10)　渡辺儀也(6)　中村由吉(5)

◎梁川屋　安藤ヒデ(21)　八島キミ(21)

◎泉屋酒店　制野一男(5)

◎東海林魚店　緑上松男(6)

◎武田編物会社　一条アイ子(10)　石井安(8)　一条也代子(6)

◎佐久間輪出造花所　斎藤ハル(5)　中条文代(5)　宮沢右(6)

◎穂苅呉服店　半沢せつ(7)

◎須田製函所　最上哲雄(10)　斎藤照男(7)　吉田福治(7)

◎奥山醤油店　故柳元治(33)

◎菅野鉄工所　石沢等(13)

◎佐藤善巳(13)　吾妻勝(8)

【写真】は表彰式場

主婦の作文

出た出た水が!!

「洗濯もまた楽し」

ジャジャーッと出た水晶のような水、それこそ待望の水が勢よくとび出しました。この水こそ私たちが何年か前から待ちこがれていた水です。ガチャン、ガチャン、息をきらしてもんだ水、それは赤くにごつた水です。この泥くさい濁り水を飲んで一生送らねばならぬと思うと、なんともいえぬ淋しさと悲しさにおそわれていました。それがどうでしよう。かくも便利な、そして衛生的な水道が出来たのです。私たち家庭の主婦としてこんな嬉しいことはありません。私は今、感謝と感激の念で一ぱいです。

思えば、去年の春、未だ肌寒い頃でした。町の方方があちこちらと水源探しをされ、水量云云とかで一時は絶望した事もありましたが、この度道路は舗装され、水道は完成されて、すつかり文化人になりきつたようなプライドをもつことが出来るようになりました。

ここ一ケ月水道を使つてみて第一に感じたことは、炊事に費す労力とその時間が何分の一かに減じられた事です。いかに近い井戸でも飲水や洗い物を運ぶに要する労力と時間は大きなものです。しかも衛生的に処理することが出来ません。私はやつぱりとよくぢとジャーと出るあの水で一気に解決してしまつたのです。

次に感じたことは、風呂水と洗濯用水のことです。ヂヤロ一つで何とでも加減出来る風呂、ほんとに夢のようです。洗濯、これまた同様、寒中氷のはつた溜池の水で、熱湯で手をあたためながらすいだあのつらさは、二度と繰返すことがなくなつたのです。それに水が軟水のためでしよう石鹸もよく泡立ち、白い生地が黄ばむことなく、真白くすすぎぬかれ、さつぱりした肌着を身につけることができるようになりました。今まで冬の洗濯といえば、何かしらゾッとするような気がしたものですが、それが今日では、レクリエーションでもあるかのような軽い気分ですることができます。数えあげればまだまだ沢山ありますが、ざつと以上のようにかいつまんで感謝のことばといたします。

（藤田駅前谷津貞子記）

「芳子さんとこの花嫁さん、とてもきれいだつた」

「お嫁入り道具、たくさん持つてきたんだつて」。とり入れもすんで、暮れ近くなると、こんな話が村のあちこちにかわされます。

去年、私の友達も隣村にお嫁にゆきました。一生に一度の結婚であればこそ、両親も、できるだけ立派にしたいのはわかりますが、なんだか、みえや形にとらわれているような気がします。

農村の毎日のくらしは、とても地味なのに、二日や三日のことであんなにハデに使つては意味がないと思います。それよりも、毎日のくらしにもつとゆとりを持つことの方が、大切なのではないでしようか。

安積得也先生の「選挙と生活」という本でしたか、会費制の結婚式のおもしろい話がのつていたのを読みました。こんな結婚式の方法は、町の青年団などで行われているという話もきいていますが、農村では、まだとてもむりな感じがします。

会費制の結婚式

（話しあいの学習のテキスト）

結婚式を合理化するには、まず「結婚」そのものについての、しつかりした考え方から出発しなければならないと思います。憲法にもかいてあるように、結婚は両性の堅い結合にあるのですから、当人同志の愛情と、心構えが一番大切なのです。

ところが、いなかでは親同志のきめた家と家との結婚なのです。だから、古い伝統を重んずる農村では、結婚の精神よりも形の方ばかり考えるのです。

娘の結婚のために借金をつくつたり、一娘三人もてば家がつぶれる」といつたことがまだ行われている農村に、一日も早く、ほんとうに合理的な結婚が、自然に行われる日の早く来ることを私はまちのぞんでいます。

（婦人と教育より）

（家内中で、あるいは隣近所での話合いのたねにしてください。安積得也先生の「選挙と生活」という本は公民館にあります）

× × ×

成人者へは祝電を打つとか、家族みんなの寄書の手紙を出すとか、在宅者には尾頭付のお膳で祝つてやるとか、あまり金をかけないで心のこもつた贈り物をするとか、いろいろ考えられると思います。

こうしたことによつて青少年の善導に役立つなら、多少の経費は問題でないと思います。

成人式も新生活で

成人式は成人された皆さんに対し、町をあげて祝つていただくおめでたい式でありますので、該当者は一人もれなく参加されたいのです。ところが近頃、成人式にかこつけて、洋服や和服を新調することがはやり、良い着物がないため欠席するものがあるといわれています。これは由由しき問題で、人生晴れの門出をファッションショウと考えたり、着物ぐらいで劣等感をもつような気弱さでは、生存競争激しい社会の荒波をのりきることは出来ません。早大教授和次郎先生は、一生背広と皮靴を用いない決心をし、りつぱに実行しているそうです。ジャンパーにズック靴でマッカーサーに面会し、堂々と所信を述べていたと申します。要は心に錦を着ることです。当人も家人もよく考えて他人に迷惑をかけぬよう、また枝葉末節にピクシャクしないよう、みんなで申合せることも新生活運動です。

成人式予告

新年早々に行われる成人式並に記念行事につきましては追つて具体案を作り、実行する ことになつて居りますので、近く具体案が決まり次第御案内が参ると存じます。昨年の例を申上げますと、成人講座三回、成人式、親子座談会、感想発表、記念講演等で、婦人会からは特に真心こもつた御接待を頂いたのでした。今年はまたどんな名案ができますか、楽しみにお待ち下さい。尚め／＼に何か記念になることを工夫するのも望ましいことです。

祝

合併五周年を祝して

空明れて松風五彩国見山　灰鳥
意を得たり丹青五年菊花展　同
菊植えて五年の労苦報いらる　甲一
秋日和四隣の留守を預れり　同
爆音やざくろのさけて輝やける　紫泉
耕運機霜の畦圧し次の田へ　同
馬出されかがやく霜に目を細む　同

水道完成を祝して

水道ひいて流し明るく冬に入る　紫泉
水噴きて虹かくるはて文化の日　甲一
水がめに別るる妻やましくる　同
連山のもみぢに注ぐ水道祭り　同
噴煙と高きを競う水道祭り　同
水ひきて炊餐愉し文化の日　灰鳥
厨房に迎春の水あたたかし　同
国旗新たにかがよう丘や文化の日　同

掲示板

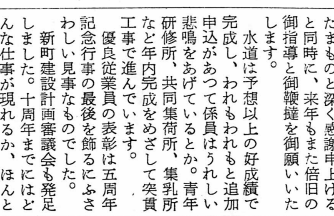
図書係より

◎無銭旅行クラブ員募集

一文いらず、居ながらにして全国観光旅行が出来るといううまい話があります。ものはためし、役場内の公民館においでなさい。「写真で見る日本」という二十冊組の写真帖をごらん下さい。これは全国都道府県毎におもなる都市、名勝、旧跡、産業はもちろん風俗、習慣をあらわす年中行事その他の写真集で、写真は大きくて新しく、それに適切な解説がしてあるので、これを見ていると、ちようど観光バスで旅をしているよう、時間がたつのも忘れてしまいます。

◎生活相談所開設

「金をかけないで台所を改善する法」「安くてうまくてそうさない栄養料理法」「年をとつても若々しくていられる法」その他美容法、長命法、育児法、家庭教育から夫婦円満術などあらゆる生活上の問題に対し、明快しかも懇切に教えてくれる書物がまいりました。名付けて「暮しの手帖」と申します。手帖といつても帳面ではありません。写真のような立派な本で、今度、第一巻から四十七巻まで一揃い購入しました。見れば見る程おもしろくて親切な本です。御婦人方はもちろん、男性の方にもおすすめします。



◇新着図書案内

北京からの便り（高橋正雄）
選挙と生活五〇話（安積得也）
癌（中山恒明）　民話を生む人人（山代巴）　ものいわぬ農民（大牟羅良）　法医学の話（古畑種基）　日本の農業と農民（河合悦三）　写真で見る日本二〇部（日本文化出版社）　暮しの手帖（大橋鎮子）

前号写真クイズの答

上、徳江にある水源地全景
中、源宗山の隅整槽
下、調整槽の天井の鉄筋です

編集後記

先月行われた第三回伊達管内館報コンクール（郡公連主催）に参加したわが「くにみ」が一等に入選しました。これひとえに町民各位の御声援と同時に、来年もまた倍旧の御指導と御鞭撻を御願いいたします。

水道は予想以上の好成績で完成し、われもわれもと追加申込があつて係員はうれしい悲鳴をあげているとか。青年研修所、共同集荷所、集乳所など年内完成をめざして突貫工事で進んでいます。

優良従業員の表彰は五周年記念行事の最後を飾るにふさわしい見事なものでした。

新町建設計画審議会も発足しました。十周年までにはどんな仕事が現れるか、ほんとうに楽しみです。

青年、婦人、広く町民の皆さん、いよいよ学習の節となりました。「天は自ら助くるものを助く」「求めよ、さらば与えられん」社会学習の根本を喝破した金言ですね。

では皆さん、よいお歳をお迎え下さい。

◎「町県民税」「国民健康保険税」第四期の納期は今月二十五日までです